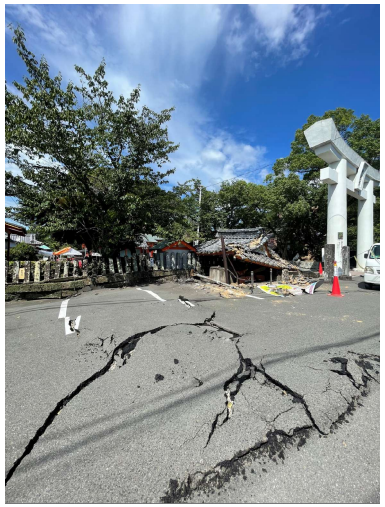
TEAM BATMAN

支援TEAM BATMAN

令和8年熊本地震支援

支援物資運搬と視察

日程：令和8年７月29日 出発／30日 現地到着~作業
場所：熊本県斐川町／八代市／益城町
物資：飲料水 140ケース（3,360本）／パン 540個／
　　ビスケット 330袋／汗拭きシート／OS1　他



●まるごみ支援チームBATMAN出動
KOUSAKU単独出動で、29日発・30日現地入り。株式会社A-TRUCK協力のもと九州支店と連携し、熊本県氷川町・八代市・益城町に保冷車で冷やした水を中心に現地へ物資を届けました。10年前の熊本地震の際、まるごみ熊本として繋がる地元・益城町の車屋オートメッセ社長・現熊本県議の住永栄一郎氏、そして人吉市・高野時の味岡かいこう住職等と情報共有。

●視察結果 レベルC

まるごみ支援チーム出動としての視察的にはレベルC 程度の災害と判断。
理由としてイオン爆発や日本製紙煙突崩落事故はありましたが、直下型範囲は限られており、地続きの災害で、今後の国の物資供給は早まりそう。電気・水道の復旧なども早いと予想し、今回はその間の繋ぎの一助となるべく早期出動で緊急水分供給を前提に出動。そして現地の視察を行いました。緊急車両の妨げや地元の方々の交通の邪魔にならないようになるべく裏道ルートを使用。また、次の大きな揺れで二次災害の恐れがあるので、出来るだけ迅速に短時間での任務遂行を目的としました。

●視察結果
九州道は益城熊本空港までしか通れず。高速を降り熊本市内から国道3号線で氷川町・八代方面へ。熊本市内に混乱は見られず、朝からランニングや犬の散歩をする人、学生の部活なのか？ 多くの若い集団が朝練しているなど市内は日常であった。※ただ、ガソリンスタンドは高速を降りると軒並み休み。ですが益城熊本空港インター手前の高速スタンドは通常営業。もっと北の街に行けばさらに営業。

被災地に近くなると徐々に渋滞。途中までは電気が通っており、今回の震源の上である氷川町の手前5キロくらいから停電で景色は一変。架橋はズレ、アスファルトは捲り上がり、壁はも所々崩れていました。氷川町に入るとやはり家屋の倒壊、救助活動している警察や消防の姿が見えます。

●電気に関して

電気に関しては能登などに比べるとかなり早いペースで復帰していくと確認。九州電力があちこちすでに入り工事してました。能登では中々来なかった電気工事。やはり地続きなので早いなと。

●水に関して

破裂した水道管があるらしく、そこが見つかれば復旧は早そう。ただ見つかってないので、それにより時間がどれくらいかかるか？

実はかなりの給水車が各自治体から支援で到着して、被災された方々に供給していますが、停電で情報が行き届いてなく、給水車がいることを知らない人が大勢いました。役場の放送は使えませんが、宣伝カーなどでお知らせすればかなりの方に水は行き届くと思いました。

実際この暑さで困っている人が多くいますが、高速も復旧すれば今後多くのボランティアが入り復旧は加速すると感じました。

大きな問題は10年前の教訓はあまり生かされておらず、八代も氷川も行政の混乱がみられました。いまだに地べたで段ボールで寝る高齢者。そして車中泊。災害ボランティアセンターの立ち上げの遅さ。担当する職員の災害時の動きが課題でしょうか。まるごみJAPANとしては、現地の住永氏、味岡氏や、今回出会った方々からニーズを拾い、本当に必要ものをA-TRUCKと協力しながら後方支援していこうと思います。

八代市総合体育館

KIZUNA ARENA